年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　公民　　科目　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　　組

教科担当者：（Ａ組：

使用教科書：（ 第一学習社　高等学校 新公共　　）

教科　公共　　の目標：

【知識及び技能】　社会の一員としての教養と公民的知識を深め、社会参画の中で知識を活用し、新たな文化を創造する能力を養う

【思考力、判断力、表現力等】　獲得した知識を現実社会で生かし、自分の頭で考え判断し行動できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】　社会の事象や問題を自分自身の問題としてとらえ、理解や課題の解決に向けて努力しようとする姿勢を養う

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元：青年期と自己形成,公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして	①私たちの社会/青年期を生きる私たち②個性の形成と自主・自律/個人の尊厳と社会的存在としての人間	【知識・技能】青年期は自立をはかる時期であることを理解できている 【思考･判断･表現】自己形成の課題に考察ができている 【主体的に学習に取り組む態度】自己実現に向け前向きに取り組んでいる	○	○	○	11
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
	B 単元：法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権　③民主主義と法の支配、政治体制	①法とは何か/ルールをつくる時の条件/ルールの評価と法の限界 ②憲法と基本的人権/基本的人権と法 ③自由権/精神的自由/人身の自由/経済的自由④法の下の平等 ⑤社会権/環境権/プライバシー権/自己決定権	【知識・技能】先哲の知恵を自己の生き方を応用できる 【思考･判断･表現】未知の異文化に適応できる能力がある 【主体的に学習に取り組む態度】伝統を受け継ぐとともに新たな文化創造を試みようとする	○	○	○	11
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
2学期	④自由に生きる権利と法・規範 ⑤平等に生きる権利と法・規範 ⑥安全で豊かに生きる権利と法・規範 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 ⑩平和主義とわが国の安全 B 単元：民主社会の基本原理 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政	民主政治を推進するために，私たちが果たすべき責任を理解する。 ・選挙の意義や課題，世論の形成や政党の役割を理解する。 ・主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。	【知識・技能】政治は身近な生活に直結していることを知る 【思考･判断･表現】社会的課題に理解ができている 【主体的に学習に取り組む態度】公民的資質獲得に向け前向きに取り組もうとしている	○	○	○	11
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
	⑥地方自治と住民福祉 D単元：国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 E単元：国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会　定期考査	①国際社会のしくみと特質/国際法の意義/国際裁判制度 ②国境/国境と領土をめぐる動き ③国際連合の成立 ④東西冷戦/大国の覇権争い　知識の定着度・達成度を測定する	【知識・技能】主権国家が並び立つ国際社会は，どのように成り立っているのかを理解する。【思考･判断･表現】国際社会の特徴と課題について，幸福，正義，公正などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】国際社会と国家主権について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○	○ ○	○	13 1
3学期	②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 F単元：私たちと経済	脅威の複雑化と多様化/対立と分断をこえて紛争の背景/難民問題 国際社会における日本の役割/日本に求められる役割　①労働者と権利②日本経済のこれまでとこれから③現代の企業④日本の農林水産業⑤市場経済と経済運営⑥国民所得と私たちの生活⑦金融の意義と役割⑧財政のしくみと租税⑨社会保障と国民福祉	【知識・技能】今日の国際社会の特徴について理解する 【思考･判断･表現】国際社会の特徴と課題について，幸福，正義，公正などに着目して考えている 【主体的に学習に取り組む態度】国際社会と国家主権について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○	○ ○	○	19
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する					1 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度　教科　社会　科目 地理総合

教　科： 社会　　科　目： 地理総合　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（　　）

使用教科書：（ 高校生の地理総合　帝国書院　　）

教科　社会　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】　現代社会の地域的特色と日本および世界の歴史の展開に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力,判断力,表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりしている。

【学びに向かう力,人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，国家および社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に課題をまとめ主体的に解決しようとしている。

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力,判断力,表現力等】	【学びに向かう力,人間性等】
世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1部　地図や地理情報システムでとらえる現代世界　1章 1章　1節　地球儀と地図　地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 【思考力,判断力,表現力等】各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだす	・指導事項：1節　地球儀と地図地球儀やさまざまな図法の地図から，現代世界の姿はどのように読み取ることができるだろうか。2節地図と地理情報システム地図と地理情報システム（GIS）には，それぞれどのような役割や有用性があるのだろうか。	【知識・技能】地球上における位置のとらえ方について理解している。 【思考・判断・表現】地球上における位置の違いは，どのような物事に，どのような形となって現れているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】球体の地球儀と平面の地図それぞれの適切な利用のしかたについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	○	○	○	4
	2章　結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】世界を構成する国家の領域の定め方や，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解する。 国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につける。 【思考力,判断力,表現力等】国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，	・指導事項　1節　現代世界の国家と領域国家の領域と国境はどのように定められ，日本の位置と領域にはどのような特徴があるのだろうか。	【知識・技能】世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。	○	○	○	5
		定期考査		○	○		1
		・指導事項　2節　地図から見る国内や国家間の結びつき 現代世界を表したさまざまな地図から，人やモノ，情報の結びつきをどのように読み取ることができるだろうか。	【知識・技能】国家間の結びつきの変化をとらえるのに地図が有用であることを理解している。 【思考・判断・表現】経済圏に着目しながら，国家間の結びつきがどのように変化しているのかについて，地図を用いて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図から読み取れる国家間の結びつきの変化について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	○	○	○	9
	2部　国際理解と国際協力　1章　生活文化の多様性と国際理解　【知識及び技能】世界の多様な生活文化	・指導事項　序説　生活文化の多様性　1節　世界の地形と人々の生活　世	【知識・技能】世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解し				

	が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。　世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につける。 【思考力,判断力,表現力等】　地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだす。	界各地にみられる地形は，人々の生活とどのように関わっているのだろうか。	ている。世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	2節　世界の気候と人々の生活	・指導事項　　気候の違いは，人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	【知識・技能】世界の気候の広がりや，気候と人々の生活が深く関わり合っていることについて理解している。 【思考・判断・表現】衣食住に着目しながら，世界の気候がどのような広がり方をしているのかや，気候と人々の生活がどのように関わり合っているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候と深く関わり合いながら人々が生活を築いてきたことについて，衣食住を手がかりに主体的に追究し，課題を見いだしている。				7+1
	3節　世界の産業と人々の生活　5節　多様な生活文化と地理的環境産業　①アジア　②-ヨーロッパ-　③ロシア　④　南北アメリカ　⑤オセアニア	農業の国際化や技術の発達は，世界の人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。私たちの食生活をイメージしながらみていこう。工業の発展は世界の人々の生活をどのように変化させてきたのだろうか。発展の経緯や移り変わりに着目しながらみていこう。	【知識・技能】農業の国際化や技術の発達が，世界の人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考・判断・表現】自らの食生活をイメージしながら，農業の国際化や技術の発達が，世界の人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】農業の発展が，自らの食生活だけでなく世界の人々の生活も変えてきたことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。				15+1
3学期	4節　世界の宗教・民族・言語と人々の生活	宗教・民族・言語は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	【知識・技能】宗教や言語といった文化が，民族というまとまりの形成や，人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の民族に着目しながら，各民族がどのような文化や生活様式をもっているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】宗教や言語といった文化が各民族を特徴づけ，人々の生活を形づくってきたことついて，主体的に追				2
	2章　地球的課題と国際協力2章の目標 【知識及び技能】地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につける。 【思考力,判断力,表現力等】地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】持	世界各地の特色ある生活文化を考察するにあたって，まず日本の生活文化における世界と共通点・相違点に着目してみよう。そして，自然環境，産業，宗教・歴史，結びつきの各テーマから一つずつ事例を選んで学習していこう。	【知識・技能】球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。				13+1 合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校　令和７年度（4学年用）　教科　　社会　　科目　　歴史総合

教　科：　社会　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　　組

教科担当者：（　　）

使用教科書：（ 第一学習社　新歴史総合　　）

教科　社会　　の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
・歴史の変化に関わる諸事象について，世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１部　歴史の扉 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料	・指導事項 中学の復習 旧石器時代から江戸時代どのようなことがあったか	【知識・技能】・私たちの生活や地域に見られる諸事情を基に，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】　・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	第２部　近現代の世界と日本 第１章　近代化と私たち近代化への問い 第１節　18世紀のアジアの繁栄	・指導事項 18世紀のアジアの繁栄 ①清が東アジアに君臨した ②東アジアは成熟期をむかえた	【知識・技能】・18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア諸国と欧米諸国などの貿易を基に，18世紀のアジアの経済と社会を理解する。産業革命と交通・通信手段の革新など，工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考・判断・表現】・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第２節　工業化の進展と国民国家の建設 第３節　結び付く世界と日本の開国 第４節　帝国主義とアジア諸国の変容 近代化と現代的な諸課題	・指導事項 ①砂糖入り紅茶とキャラコに魅せられて ②国産化が世界をつくり変える ③人々の政府を自らつくる ④政治は国民のために ⑤自由主義とナショナリズムが広まった ⑥イギリスの影響力が世界におよんだ ⑦イギリスに追いつき，追いこせ ⑧アメリカは内乱を経て国民統合をはたした	【知識・技能】・18世紀以後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思考・判断・表現】・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定 し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を多面的に比較したり，相互に関連付けたりしている。	○	○	○	6
		・指導事項 ①ヨーロッパがもたらした衝撃 ②南アジア・東南アジアの落日 ③清と日本が開港をせまられた ④清と日本は外圧に対応した ⑤日本の国境・領土が定まった ⑥日本も立憲国家となった		○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	国際秩序の変化や大衆化への問い 第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第１節　第一次世界大戦と大衆社会 中間定期考査	・指導事項 ①すべてが戦争に巻きこまれた ②世界初の社会主義国家が誕生した ③世界は国際協調を模索した ④第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの ⑤朝鮮・中国の民衆が立ちあがった ⑥空前の繁栄の光と陰 ⑦大衆が政治を動かしはじめた 【国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題】 異文化の人々と共生するために	【知識・技能】・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成 長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の対等，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思考・判断・表現】国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。				15
	定期考査			○	○		1
	第２節　経済危機と第二次世界大戦 第３節　第二次世界大戦後の世界と日本 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 定期考査	・指導事項 ①恐慌の嵐が吹き荒れる ②大衆は新たな勢力に期待をかけた ③日本と中国の対立が深まった ④世界は戦争の道を歩みはじめた ⑤ふたたび世界大戦がはじまった ⑥戦争が終わった ・指導事項 ①新しい世界秩序が築かれた ②日本は連合国に占領された ③冷戦の影響は東アジアにもおよんだ ④日本は新たな道を歩みはじめた 【国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題】 民主主義の成果を守りつづけるために	【知識・技能】　・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【思考・判断・表現】第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。				16
	定期考査			○	○		1
3学期	第３章　グローバル化と私たち グローバル化への問い 第１節　冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	・指導事項 ①アジア・アフリカの国々が独立した ②核戦争の危機に世界が恐怖した ③奇跡の高度成長がはじまった ④アメリカも中国もゆれ動いた	【知識・技能】・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解する。ま た，冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に着ける。 【思考・判断・表現】地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。				7
	第２節　世界秩序の変容と日本 定期考査	・指導事項 ①世界をゆるがした２つのショック ②アジアが躍動する ③冷戦が終わり，そしてソ連は消滅した ④「唯一の超大国」アメリカがゆらいだ ⑤グローバル化の光と陰 ⑥時代の転換点に立って	【知識・技能】・冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどし て，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【思考・判断・表現】　アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。				6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70